2018年度 非開削技術講習会 東京(六本木)　宮城(仙台)

角川　順洋
KADOKAWA　Yorihiro
(一社)日本非開削技術協会
事務局長

昨年度に引き続き,2018年度も非開削技術講習会を,東京会場および宮城県仙台会場で延べ2日にわたり開催しました。今回も,(公社)日本下水道管路管理業協会および(一社)日本管路更生工法品質確保協会との共催で実施。管路更生工法のプログラムにおいて共催協会からの講師をお願いしました。

両会場での講習会について以下に報告します,

1. 東京会場

日　　時：2019年2月5日（火）13時～17時
場　　所：政策研究大学院大学　1階　A会議室
参加人数：52名
概　　要：

東京を中心に関東近県の官公庁,各種業界から参加。関西や島根，沖縄からの参加もありました。

講座ではソーシャルコスト検討委員会の宮武昌志委員長が「地下管渠工事の社会的費用・算定の手引き(案)」。地下探査委員会の鈴木敬一委員に「非開削地下探査技術適用の手引き（案)」，およびHDD工法の説明では，HDD（誘導式水平ドリル）工法委員会の伊藤靖委員長にHDD工法の施工手順，施工事例の紹介。佐藤晋吾委員にHDD工法の材料特性について紹介をしました。そして，共催協会の(一社)日本管路更生工法品質確保協会の佐藤敏明理事より「管路更生工法」について地下管渠の劣化事例とその対策工法となる管路更生工法の種類をご説明いただきました。

会場の参加者からも各プログラムへの質問が多く,参加者の方と講師の方で充実したディスカッションを行うことができました。

アンケートからも今回参加した多くの方々が充実していたと回答をいただきました。

2. 仙台会場

日　　時：2019年2月7日（木）13時～17時
場　　所：仙台商工会議所　7階　中会議室
参加人数：22名
概　　要：

仙台会場においても，宮城県内だけではなく東北の各県から官公庁，各種業界から参加がありました。

講座は，東京と同様にソーシャルコスト検討委員会の宮武昌志委員長が「地下管渠工事の社会的費用・算定の手引き（案)」。「非開削地下探査技術適用の手引

写真－1　講習会（東京会場）

写真－2　講習会（仙台会場）

き（案）」の説明では，地下探査委員会の齋藤秀樹委員長，HDD工法の説明では，HDD（誘導式水平ドリル）工法委員会の伊藤靖委員長にHDD工法の施工手順，施工事例の紹介。そして河村栄治講師にHDD工法の材料特性について紹介をしました。

仙台会場では，共催協会の㈶日本下水道管路管理業協会で修繕・改善委員会　宮川恒夫委員長代理より「管路更生工法の歩みおよび規格の変遷」と題して管路の老朽化に伴う管路更生工法の経緯についてご説明を頂きました。

仙台会場では，施設の制約から参加人数を絞って募集しておりましたが，東京会場と同様に好評で申込が続き，会場の規模を大きくして改めて募集しました。

年度末の繁忙期とあり，当日はキャンセルも数名でましたが代理出席も多くこちらも盛会で会を終了することができました。

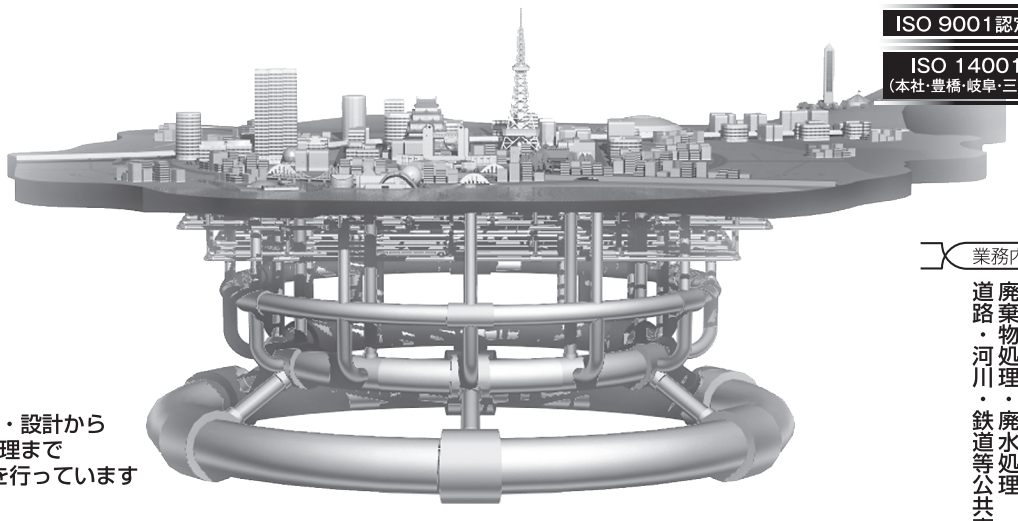
会場の参加者からも各プログラムへの質問が多く，参加者の方と講師の方で充実したディスカッションを行うことができました。

アンケートからも今回参加した多くの方々が充実していたと回答をいただきました。

共催協会の㈶日本下水道管路管理業協会ならびに㈳日本管路更生工法品質確保協会には大変お世話になりました。

また，両会場とも講師の方をはじめJSTT会員の皆様にも会場の設営，受付，片付など多大なご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

水と生きる



ISO 9001認定登録（全社）
ISO 14001認定登録
（本社・豊橋・岐阜・三重・静岡事務所）

調査・計画・設計から
施工管理まで
一貫した業務を行っています

業務内容
上水道・下水道・工業用水道
廃棄物処理・廃水処理
道路・河川・鉄道等公共事業全般

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会会員
人・街・自然・いきいき
中日本建設コンサルタント株式会社
代表取締役社長　上田　直和

品質方針／顧客に信頼と満足を提供　　品質目標／顧客第一、品質向上、社内協調

本　　社／名古屋市中区錦1−8−6（ONEST名古屋錦スクエア）　☎052-232-6032㈹
東京支社／東京都千代田区五番町14（国際中正会館ビル5階）　☎03-6261-3710㈹
大阪支社／大阪市中央区内本町1−3−5（クロス・ロード内本町ビル2階）　☎06-4794-7001㈹
事務所／札幌・東北・仙台・茨城・取手・北関東・千葉・鎌ヶ谷・神奈川・新潟・佐渡・静岡・三島・長野・飯田・豊橋・岐阜・三重・伊賀
富山・福井・嶺南・京都・滋賀・奈良・神戸・岡山・広島・和歌山・鳥取・島根・山口・松山・徳島・香川・九州・熊本・長崎